



千代田区立 教育研究所だより

2022年夏 研修・研究特集号

令和4年9月

今年度実施されている研修・研究の一部を紹介します。

<幼稚園・こども園 保育訪問>

自園の課題について協議する際、教育研究専門員が参観した保育をもとに【保育ウェブ】の方法を使いました。遊びの中で幼児が経験し学んでいることはどのようなことか、そして明日どうなるか予想し、保育者全員が意見を付箋に書き、出し合い、話し合いました。



Ⅰ学期 保育訪問

<若手教員育成研修>



初任者研修 8月1日(月)

夏季休業中の研修として、午前中はグループ別に「区内巡り」を行いました。取材してきた東京駅丸の内改札や文部科学省情報ひろば等の写真をもとに意見交換をして交流を深めました。午後は教育研究所にて「教職員のメンタルヘルスセミナー」や「学級経営の意義と指導」、「学習指導案の作成」「キャリア教育」について、それぞれの講師による講義・演習を通して学びました。

2年次教員研修 5月2日(月)

「学習指導力」「生活指導・進路指導力」等実践的な指導力の推進を目指しています。「特別支援教育の視点に基づく授業改善」をテーマとして、主任教諭の授業を参観し、授業から学んだことを付箋に記入し、グループ協議を行いました。その後、【授業力の6要素】にそって考えを分類し、グループごとに授業改善の方向性をまとめました。



3年次教員研修 5月12日(木)

「外部との連携・折衝力」の伸長を目指して、関係諸機関との連携について研修しました。講師である千代田区立児童・家庭支援センターの子ども家庭相談係長、発達支援係長、及び当研究所のSSW、適応指導員のもと、グループごとに4人の講師とディスカッションをしました。その後、研修をまとめプレゼンテーションにして発表しました。



<教育課題調査研究>

指導課の主導によって推進され、各校から推薦された委員で調査研究部会を構成しています。令和3年度から「すべての児童・生徒にとって、主体的に思考を深められる ICT の活用 ～ 一人一台タブレットを用いた個別最適な学びと協働的な学びの充実 ～」を研究主題として進めてきています。



第1回 調査研究部会 5月10日(火)

第1回は、麴町中学校において行われました。麴町中学校の Teams を教職員、学年、部活動などで実際にどのように活用しているのか、チームごとの活用状況を観察し、グループ協議を行いました。

※今年度は、
【OODA ループ】の考え方を大切にして調査研究を進めています。

Observation (観察)
Orient (情勢判断)
Decision (意思決定)
Act (行動)

第2回は、先進的ICT教育、プログラミング、STEAM教育、アクティブ・ラーニングを実践している「つくば市立みどりの学園義務教育学校」の視察をしました。職員の多さを最大限に生かしICTの自主研修を気軽に開催する学園の先生方、知的好奇心を存分に刺激される授業を受けて「YouTube を見るよりもプログラミングの方が楽しい」と話す子どもたちの様子を参観し、学習者視点に立った教育の本質について学ぶ機会となりました。【別紙資料】⇒



第2回 調査研究部会 6月21日(火)

第3回は、前回の視察を各校でどのように報告をしたのかを共有しました。

その後4つの分科会に分かれて協議しました。【SWOT 分析】の手法を使って、強み・弱み(自校の得意なこと・苦手なこと)を分析するとともに、【ロジックツリー(Why・How)】の手法を用いて、課題の原因を追究したり、解決策を具体化したりしました。



第3回 調査研究部会 7月5日(火)

「チャンス」「チャレンジ」「チェンジ」

教育研究所は、
子どもたちのために頑張る
先生方の応援団です。

お知らせ

○9月より新しく所員が配置されました。
白鳥教室支援員 加藤 景子
(週1日勤務)

○所報【第83号】の発行は12月1日を予定しています。

千代田区立教育研究所 所長 山本 真(指導課長兼務)

指導課事務局 担当指導主事: 塚田 恭平

管理係: 平山 美紅

田中 慎太郎